

# 中村橋駅周辺まちづくり検討会

## 第4回 議事要旨

[日 時]

令和6年6月20日(木) 18時30分から20時00分まで

[会 場]

サンライフ練馬3階 研修室第一・第二

[出席者] (敬称略)

委員長 杉崎(学識経験者)

委員 関口(商店会)、本橋(町会)、佐藤(学校)、関口(学校)

須藤(区民)、前田(区民)

オブザーバー 荻原(専門調査員)

欠席者 江村(商店会)、田中(商店会)、内田(商店会)、上野(町会)、長坂(町会)、河原田(学校)、今田(区民)

[事務局]

東部地域まちづくり課 藤本、松本、富本

美術館再整備まちづくり課 中山

美術館再整備担当課 稲永

[傍聴者] 0名

[議事次第]

1. 開会

2. 議題

(1) 千川通り南側中杉通りについて

[配布資料]

・資料1 千川通り南側中杉通りについて

・令和6年度 中村橋駅周辺まちづくり検討会 委員一覧

## 1. 開会

- ・令和6年度最初の検討会であり、昨年度から委員および事務局に変更もあったため、出席者の自己紹介を行った。
- ・委員長の挨拶の後、プログラムに沿って議事を進めた。

委員長	・本日は、千川通り南側の中杉通り（以下「南側」という。）について議論をしたい。まずは事務局より資料の説明を行う。
-----	--

## 2. 議題

### 千川通り南側中杉通りについて

#### 事務局から資料1の説明

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・昨年度までは美術のまちづくり部会と中村橋駅周辺まちづくり部会という2つの部会で分かれており、それぞれの部会で4回ずつ検討会を開催した。そして、それぞれの部会のまとめとして、全体会を2回開催した。今年度は部会という形で分かれずに、検討会という形で議論をしていきたいと考えている。昨年度までに全体会を3回（書面開催を含む）行っているため、今回の検討会を第4回とした。</li><li>・本日の議題は「千川通り南側中杉通りについて」である。まず、中杉通りについて中村橋駅の南北に通っており、千川通りを境にして北側、南側と分け、今回は南側について議論する。</li><li>・資料1の1ページに記載のとおり、南側の現状は以下のとおり。<ul style="list-style-type: none"><li>・幅員が千川通りとの交差点付近は11m、それ以南は約7mである。</li><li>・南方向への多くのバス交通があり、平日は227本のバスが来ている。</li><li>・歩車分離していない中、車両・歩行者ともに多く、歩行者に危険な状況。</li><li>・商店街では生鮮三品などを扱う店舗が減少し、日常的な買い物をする人の流れがなくなっている。</li></ul></li><li>・上記のような状況で、中杉通りの東側にて補助133号線という都市計画道路を通すための事業が始まっている。事業が始まったと言っても、すぐに新設工事が始まる訳ではなく、現状は用地取得を行っている。</li><li>・補助133号線は幅員16mで計画されており、開通後は現在中杉通りを通行している車が補助133号線へ流れていくことを想定している。</li><li>・千川通り北側には既に補助133号線が開通しており、千川通り北側の中杉通りは車の通行量が以前よりも減少している。千川通り南側も補助133号線が開通すれば、北側と同様に車の通行量が減少することが見込まれる。</li><li>・そこで、将来的に南側にも補助133号線が開通した場合、南側で賑わいを創出するためにできることを検討するというのが今回の議題である。</li><li>・本日の資料に賑わい創出のための案がいくつか記載されているが、この案から今日決めてほしいという訳ではない。記載案はあくまで参考例で、南側が将来こうなるといいという将来像について話をできればと思う。</li></ul>
-----	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1の2ページ「どんな道路を目指すか」ということで、歩道や車道の在り方の例を記載している。 これも、この中から決めてほしいということではなく、あくまで参考例。</li> <li>・現状では幅7mの道路の端に路側帯があり、そこを歩行者が歩いているという状況で、車道と歩道が明確に分離されている訳ではない。</li> <li>・将来、補助133号線が開通した場合、南側の車の通行量が減ることが見込まれるため、例えば歩道を現状よりも広くして、車は一方通行にしてしまう事があり得るし、車両を通行止めにして歩行者天国にしてしまう事もあり得る。(車両通行止めの場合は、時間帯規制やエリア内の店舗や居住者に通行許可証の発行等のルール作りは必要。)</li> <li>・また、車の速度抑制のために車道をあえて蛇行させる方法(シケイン)、車道に突起を作ってスピードを抑制する方法(ハンプ)、車道にポール等を立て一部道幅を狭くすることでスピードを抑制する方法(狭さく)等の対策もある。</li> <li>・資料1の3ページ以降に参考写真を載せている。他自治体になるが、南側と同じ程度の道幅でも様々なことをしている所もあり、道幅の広い道路でなくてもやり方によってはいろいろな事ができ、地域を盛り上げていくことができると思う。</li> <li>・どのような歩道、道路にするとしても、地域の人達との協議は不可欠であり、実際に決めていくには長い時間を掛ける必要がある。そのため、今すぐに答えを出すということではなく、どのようになって行くと良いのかという方向性を話し合いたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補足説明として、補助133号線が開通した後は、基本的に車は補助133号線の方を通ってもらい、南側はできるだけ車の通行を減らしたいという思惑がある。</li> <li>・ただ、南側の車の通行量が減った場合、補助133号線よりも南側の方が空いているので抜け道的な扱いになってしまい、逆にスピードを出す車が増えてしまうという可能性も考えられる。</li> <li>・そのため、補助133号線が開通し、南側の車の通行量が減った時に、今までと何も変えずにそのままということはある得ないと思っている。何等かの対策をしなくてはならない。</li> <li>・対策としては、参考例にあったような一方通行にするとか、通行止めにするなどの何等かの対策を講じて、今とは違う使い方をしていこうというのが基本的な考え方になる。</li> <li>・前回(昨年度)には、部会でバス交通の話もしている。現状だとバスが南側を通っているが、補助133号線が開通すれば、バスはそちらを通ることが想定される。</li> <li>・ただ、駅前にバスの転回空間がないため、どこかにバスの転回場ができるといいという話になった。</li> </ul>

## 千川通り南側中杉通りについて話し合い

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助 133 号線が開通した後は、南側はやはり歩行者優先の生活道路にした方がいいと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚的には北向きの一方通行にしても南側からそのまま北に抜けられてしまうため、あまり効果がないように思う。車の通行を減らすためには、車にとっては少し通りにくくなるような事をしないとイケない。</li> <li>・南側の商店街は店舗が減ってきてしまっているという中で、賑わいをどう作り出していくのか。</li> <li>・南側については、通勤・通学等でも多くの人が通っているので、いずれにしても車の通行量は少ない方がいいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中村西小学校の立場から言うと、千川通りとの交差点付近が渋滞するので、その前の「中村西小学校入口」の交差点を左折して住宅街を通過して千川通りに入る抜け道があり、朝の通学時間帯だけは規制されているが、車が通り抜けていくので事故も多い。</li> <li>・朝だけは規制されているからいいが、夜になるとスピードを出す車も多い。そのため、夜の時間帯（例えば19時～21時くらい）の帰宅ラッシュの時間帯は規制することも必要だろう。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民からすると、本当はこのような地域の道は地域に関係のある人以外は通らないでほしいというのが道路の基本的な考え方になるので、何等かの規制等の対策を講じないとイケない。</li> <li>・新しく開通する補助 133 号線には、その辺りの問題も解決することが期待されるが、今のまま南から通り抜けられる状態だと、あまり変わらないだろう。</li> <li>・この道路の問題は結構大事な話だと思う。今は通学時間帯だけ規制が掛かっている状態なのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は通学時間（朝）の規制と地域の人を立てて柵を設置している。</li> <li>・一時停止をしない車も多く、警察がよく取り締まりをしている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通り抜けができないように上手く交通制御していくというのが、まちづくりの課題。</li> <li>・事務局としては、賑わいを生むような道路の使い方をいろいろと議論できればいいと考えているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賑わいが生まれるのは、我々としては望ましいと思っている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の設えをどうするのかという話と、もう一つはその道路でイベントや何か活動ができるようにするという話をできたらということ。</li> <li>・例えば、同じカラー舗装にして関係者だけが通行できるようにするとか、道を蛇行させる案もある。商店街の道を蛇行させる場合は、ただ蛇行させるだけではなく、凹んでいる部分に車を止められるようにして荷捌き用のスペースにするというケースもある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蛇行した道というのは、高齢者のドライバーはあまり得意ではない。</li> <li>・蛇行よりはハンプの方がいいのではないかな。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンプにすると、今度はトラック等が通った時に大きな音や振動が発生し、</li> </ul>

	<p>周辺住民からは良く思われない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近だとイメージハンプのような物で、実際にはハンプになっておらず平坦な道なのだが、ハンプのように見える絵が書いてあるというような物もある。</li> <li>・初めての人はいいが、慣れてくると意味がなくなってしまう。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中杉通りの東側は南北の通り抜けができるのでいいが、西側は南北の通り抜けができないので、車が通りにくくなると苦情が来るのではないか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かをやらうとすると、大体どこでもそういう話が出る。</li> <li>・実際には車で数分程度の違いしかなくても、少しでも影響が出ると苦情が来てしまう。</li> <li>・このような物はいきなりこうだと決めつけるのではなく、だいたい社会実験として数週間から数か月程度まずはお試しでやってみて反応を見るという事をしている。それで反応が悪かったら、再検討するというやり方が多い。</li> <li>・一方通行などはそういった社会実験をやりやすいと思う。だいたい慣れるまでに1週間程度か掛かり、一定期間やってみて、その後に評価をしてみるというように、一発勝負ではない。</li> <li>・実際にやってみないと分からない事もあり、予想外の場所で渋滞が発生してしまったということもあるので、だいたいそういった社会実験をやっていると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南側は店舗がだいぶ減ってきた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店も少なくなってきており、現状では中杉通りにトラックを停めて荷捌きをするというようなことはあまりないと思う。</li> <li>・今後、商店街が再び賑わった時には荷捌き場所も必要になるかもしれない。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の細かい検討の話になると、この通り沿いに駐車場が何台分あるのかとか、そういった事も調査していかないといけない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に住んでいる人からすると通りが狭い。</li> <li>・そのため、やはり生活道路とした方がいい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完全に歩行者専用道路というのではない。</li> <li>・居住者と商店街の方は時間規制で午前中のこの時間帯は入っていいというような規制の仕方があると思う。</li> <li>・そのようなルールの話と、もう一つは設えの話で、歩道と車道をどう分けるのかという話がある。</li> <li>・最近をあえて分けないというパターンもある。皆が緊張感を持って注意して通行するという考え方。</li> <li>・路側帯はインターロッキング等で舗装をするが、あえて路側帯と車道の境に線を引いたりしない。そうすると、段差等もないためイベント等でも使いやすいというメリットがある。</li> <li>・参考写真にある京都市三条通りはまさにこのパターンで、路側帯がインターロッキングになっているが車道との境はない。イベント時には一部通行止めにして、道にお店等を出している。</li> <li>・これも社会実験中で、いずれは車を排除したいという思惑があり、それに向</li> </ul>

	けて季節毎にいろいろな実験を行っている。
事務局	・今回は道路でイベントをやっているような事例を探して来たが、道路でイベントというのは最近の流行りで、国交省などでも推奨しているようだ。
委員長	・練馬の石神井公園の公園通りは、バスも別ルートになったので車を止めてしまってもいいと思うが、そうならない。 ・やはり、車を通行止めにするというのはなかなか難しい。
委員	・その石神井公園の通りでいうと、バスが通らなくなったことで、逆に一般車がスピードを出さずようになってしまった。
委員	・中杉通りというのは、どの範囲を指しているのか。
事務局	・検討会で想定しているのは、あくまでも中村橋駅周辺。 ・中村橋というのが、どこからどこまでという事がハッキリ決まっている訳ではない。 ・逆に、あまりに具体的にここからここまでと決めてしまうと、その範囲から少しでも外れたら何もしないのかという話にもなってしまうので、大雑把な範囲で示している。
委員長	・中杉通りの整備というのかなり広い範囲になってしまうが、その全部を整備するのか、それとも駅周辺だけにするのかという話もある。 ・交通規制はどうするのか。道路の歩道をどこまで変えるのかという話もある。
委員	・理想は全部だろうが、南側の方に行けば行くほど住宅街になる。
委員長	・歩いて行ける範囲にするとか。
事務局	・道路の交通規制の話だが、通行止めにして何かやる場合に、面白いと賛成してもらえるのか、それとも反対されてしまうのか。
委員長	・普段は道路の所を通行止めにして何かやっているような物にどこか参加したことはあるか。
委員	・近所の保育園で道路を通行止めにして子供用のイベントを行っている。 ・道路を子供の遊び場にして、道に落書きもできるような事もやっている。 ・歩かせる保育と言って子供を歩かせているが、ただ歩かせるだけではなく、商店街等も協力してお店を出したり、学童や小学校の先生、野球部の人達も参加している。
委員長	・そこは、面白い取り組みをしていることで有名な保育園で、周辺の町会とも協力して子供達の遊び場を作る活動をしている。 ・その中で、道路でのイベントや道遊びを行っている。 ・何もマルシェのような形に拘らなくても、道路を通行止めにして子供達の遊び場にして、夏だったら水遊びができるようにするとか、道にチョークで落書きをして、最後に皆でタワシで掃除するというような、そういった道遊びもある。
委員	・コロナの時に子供達の遊び場がなくなってしまった。公園も封鎖されてしまい、道路でどうやって遊ぶのかということのを皆で考えたりして、道路の活用ということを再認識した。
委員長	・普段は端を歩いている道路を通行止めにして、皆で道路で遊ぶというのが、

	<p>何だか不思議な感じがして面白いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他にも、フリーマーケットを開くのも面白い。</li> <li>・区内でも神社を使ってフリーマーケットをやっていたと思う。フリーマーケットなら通りすがりの人も気軽に参加できるのでいいと思う。</li> <li>・中村橋でも試しに1ブロックくらい使ってやってみるのもいいと思う。</li> <li>・石神井公園では照姫まつりの時に普段とは違う街の使い方をしている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーマーケットは面白いと思うし、最近はいろいろな場所でやっているのを見かける。</li> <li>・そういった中で、地元の商店街からも店を出して売り上げが上がっていけば、人の流れも変わってくるのかと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所も限定的にせず、美術館も新しくなるので、もっと広い範囲で人が街中を歩きながら楽しめるような物になるといいと思う。</li> <li>・三軒茶屋ではアートフリマといって自分で作った作品やアクセサリーを売っている。そういう物に特化したフリーマーケットをやっている面白い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館も新しくなるので、そこで本のフリーマーケットというのも面白い。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの空いているスペースに本を置けるようにして、本が好きな人が来て、本が回っていく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神保町に行かなくても、ここにあるというような感じ。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおりで、神保町のように古い本があるイメージ。</li> <li>・道路ではなくても、ちょっとした小さなスペースに古本が置いてあるスポットが街中に何か所か点在している。</li> <li>・先ほどの保育園の事例等のように、道で何かイベント等をやるというのは最近の流行りで、朝霞市役所前の通りの新しい緑道でも年に何回かイベントを行っている。</li> <li>・緑道と駅周辺の商店街が連なってイベント行っている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路のあり方が変わるとなると、周辺住民にとってどう影響していくのかという事が分からない。</li> <li>・現状は、お店はあるが飲み屋以外ではあまり荷捌きを必要としていないため、多少車に不便になっても大丈夫そう。</li> <li>・そうすると、少し道に余裕が出てきて、何か他の事にも使えそうだという可能性が見えてきた。</li> <li>・道遊びやフリーマーケットの話も出た。フリーマーケットは何かテーマ（例えばアート好きの人向け、本好きの人向け等）を決めて開催しても面白い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新道ができたなら、新道の方が歩道もちゃんとあり安全に通行できる。逆に旧道の方は抜け道になり、狭い道路を車がスピードを出して通るので危ない。そうすると、皆が新道の方を通り、旧道に行かなくなってしまい、旧道沿いの商店街が寂れてしまうということがあるのではないかと。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういった事も考えられる。</li> <li>・そのため、やはり新道ができたとしても、旧道を今のまま変えないという事はないと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中杉通りが無電柱化して、もっと安全に通行できるようになれば、今やって</li> </ul>

	いるような阿波踊り等のイベントももっとやりやすくなるだろう。
委員長	・無電柱化は当然のことだと思う。
委員	・美術館の周りは無電柱化できたが、それ以外がまだ。
委員長	・無電柱化は、都の優先順位としてはどうなのか。
事務局	・基本は都市計画道路を優先にしている。 ・商店街があると、営業しながら工事をしないといけない。車が通る道路だと夜間工事になり時間が掛かる。 ・中杉通りは都道になるため、都が無電柱化をすることになる。
委員	・季節感のあることも考えられないか。例えば千川通りは桜がとても綺麗だが、そういった季節感を活かしたようなイベントはやっているのか。 ・先ほど話題の出た子供の道遊びだと、真夏の時期は屋外の道路は暑いから厳しいということならば水遊びをすとか、季節毎のイベントや街遊びをやっていくと定着していくと思う。 ・例えば他の自治体では、まちなかで忍者ごっこをやるような活動をしているアーティストを呼んできて、イベントを開催することもやっている。
委員長	・美術館のリニューアルに合わせて、当然、美術館もまちに出て行き、美術館側からまちに提案をしていくくらいが望ましい。
事務局	・新しい美術館も、美術館の外のまちに出て行き、まちと一緒にやっていくというのがコンセプトになっているので、何かやらないといけないと思っている。
委員長	・美術館をリニューアルしたのに、外には出ないすごい建物だけ出来て終わりでは寂しい。
委員	・道にも「 通り」と新たな名前を付けて、楽しそうな道だなと思ってもらえるような物にするのもいいと思う。中杉通りだけだと単なる普通の道になってしまう。
委員長	・今はどのような感じなのか。美術館がリニューアルして、その周辺の街中に何か所か賑わいスポットを作ったりするのか。
事務局	・昨年度に初めての試みではあるが、美術館の前の緑地でアートマルシェと言って、2日間で地元の商店街や農家に協力してもらい出店を行った。 ・こういうイベントがもっと地域に広がってほしいと思っている。
委員長	・美術館の緑地は駅北側だが、南側の方でも何かをやって、まち全体をグルッと回遊できるような物になるといい。
委員	・町会の中で貫井の歴史というテーマでまち歩きを年2回程度行っている。 ・中村橋駅周辺でもそういったまち歩きを行っても面白いと思う。
事務局	・そのまち歩きはどういった方が参加しているのか。
委員	・参加者は町内の人。 ・一番多かった時は50人くらい来たこともある。
委員長	・最近だと、現代アートの作家さんがまちに出てきてリサーチをしたり、マップ作りをしたりというのも流行っている。
委員	・そういったアーティストの方々は、普通とは違う視点からまちに注目している。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、電線をこよなく愛しているアーティストもいて、そういった視点からすれば中杉通りはとても興味の惹かれる場所だと思う。他にも暗渠をリサーチしてまちあるきしている人達とかもいる。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>この地域も暗渠が多い地域だと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>そういった意外なところから地域の魅力のような物が見えてくるという事もある。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>このまちは、商店街であり、生活の場であり、でも美術館があってアートな雰囲気もあり、西武線に乗って外部から遊びに来てくれる人もいるというような場所。</li> <li>新しい美術館がまちに出て行って、街中で何かイベントを展開して行って、道路を活用したり等の様々な方法が考えられるというような議論になった。</li> </ul>

### 3. その他

#### 事務連絡

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>本日の議事録を作成し、出席者の皆様に確認をお願いします。</li> <li>次回開催日は8月を予定している。詳細が決まり次第、改めて連絡する。</li> </ul>
-----	---

以上